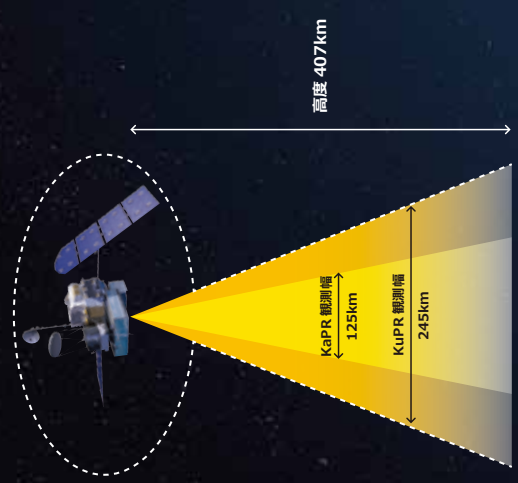


全球降水観測計画 (GPM)/ 二周波降水レーダ (DPR)



高度 407km

KaPR 観測幅 125km

KuPR 観測幅 245km

GPM 計画における DPR の役割

日本が開発を担当する二周波降水レーダ (DPR) は、熱帯降雨観測衛星 (TRMM) に搭載された降雨レーダの後継である Ku 帯 (13.6GHz) のレーダに、高感度な観測を実現するための Ka 帯 (35.55GHz) のレーダを追加し、2つの周波数により降水を観測するセンサーです。DPRにより、高感度な降水観測と降水システムのパラメータの推定が可能になり、これらの情報を用いてマイクロ波放射計およびマイクロ波サウンダからの推定降水量の精度を向上させることが可能になります。この手法を、GPM衛星群に搭載されたマイクロ波放射計およびマイクロ波サウンダにも応用することにより、高精度、高頻度な全球降水観測が可能になります。

